

子どもの 生きる力を 支える

- ◆2013年10月26日 13:00～16:00
- ◆開場 12:00 直接会場へお越しください
- ◆仙台市福祉プラザ1階プラザホール
(仙台市青葉区五橋 2-12-2)

震災から2年半の 現状とこれから

CAPトレーニングセンターJ-CAPTAは、子どもと女性への暴力に関する調査研究では世界的第一人者のデービット・フィンケルホーさん招聘フォーラムを記念して、毎年、同時期に子どもへの暴力防止フォーラムを開催しています。

今回は、宮城県仙台市を会場に、子どもたちの生きる力を支えながら復興に取り組んでいらっしゃる方々をシンポジストにお招きして震災からの2年半の現状をお聞きし、これからわたしたち一人一人が何ができるかを会場の皆さまと共に考えます。

出会いつながる機会です。皆さま、どうぞご参加ください。

参加費

学生 無料
一般 500円

シンポジスト

■女川町教育委員会 社会教育指導員 元木 幸市さん

「被災地の子どもたちの心を支える本物の力、図書館復興の取り組みから見えてきたこと」

■日本ユニセフ協会 東日本大震災緊急支援本部子どもの保護アドバイザー 小野 道子さん

「日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援の活動から見る被災地の状況と子ども」

■J-CAPTA トレーニングディレクター 石附 幸子

「不安を勇気にかえる CAP のちから～被災地での CAP の実践を通して」



ジェイ キャプタ

主催：一般社団法人 **J-CAPTA** TEL/FAX 011-666-8517

共催：**CAP みやぎ** 070-5017-4389

J-CAPTA フィンケルホー記念フォーラムとは

デービット・フィンケルホー氏は1970年代から今日に至るまで、子どもと女性への暴力に関する統計調査研究の第一人者です。その統計調査の分析に基づく提言は、子ども虐待の国際的分野に大きな影響を与えてきました。「アメリカでの子ども虐待の大幅な減少とその理由」や「子どもへの暴力被害を、性的虐待、いじめ、ドメスティック・バイオレンス環境・・・などと、ばらばらに扱うのではなく、総合的に捉え、被害の影響を発達に応じて検証する方法『発達被害者学』(『子ども被害者学』岩波書店、沢森田ゆり他)などを提唱されています。

ISPCAN(子ども虐待防止国際協会)大会でも活躍されているフィンケルホー博士を、J-CAPTAは2010年10月末に日本にお招きしてフォーラムを開催しました(朝日新聞厚生文化事業団共催事業)。以来、毎年同時期にフィンケルホー記念フォーラムを開催しています。

これまでの開催地

- 2010年 ◆ 東京有楽町朝日ホール
- 2011年 ◆ 長野県長野市
- 2012年 ◆ 青森県弘前市

CAPとは

Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。

子どもを対象にしたプログラム(子どもワークショップ)では、就学前、小学生、中学生、障がいのある子、児童養護施設の子どものためにそれぞれ発達段階にふさわしい寸劇、歌、人形劇、討論などを盛り込んで、子どもたちを怖がらせることなく暴力防止の具体的な対処法を教えます。

従来の「～してはいけません」式の危険防止教育とは根本的に異なり、「～することができるよ」と身を守るための行動選択を練習します。安心、自信、自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、全ての子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。

学校や保育園・幼稚園をキーステーションとして、子ども・教職員・保護者に研修ワークショップを提供します。

CAPワークショップの問合せは、地域のCAPグループへ。(ホームページに掲載)

会場のご案内

仙台市福祉プラザ
仙台市青葉区五橋2-12-2

最寄り駅

仙台市営南北線「五橋駅」
南1番出口徒歩3分



一般社団法人
J-CAPTA
Japan CAP Training & Action
ジェイキャプタ

J-CAPTA(Japan CAP Training & Action)はCAPプログラムの使用に関する権限を持つICAP(International Center for Assault Prevention)から認可された日本のCAPトレーニングセンターです。子どもへの暴力のない社会、子どものエンパワメントを目指し、CAPトレーニングの実施と社会変革のアクションを広げます。